

# 就学前 武道教育の 実践

幼年部2年間の取り組み



公益財団法人 修武館

# はじめに

このプロジェクトは、いつも午後3時まで眠っていた道場に少しばかり早起きしてもらい、「もったいないをカタチに」したいという発想からはじまりました。

平成24年度から完全実施された「中学校武道必修化」を踏まえ、修武館ができることをカタチにします。

事業名

## 『就学前武道教育の実践』

### 目的

平成24年度から中学校の武道必修化が完全実施されましたが、限られた授業のなかで、武道必修化の目的は達成されるのでしょうか。

地域のチカラとしての町道場がその目的を達成するための役割が何であるかを検証し、事業の過程や成果を情報発信することで必修化の成功に寄与します。

### 目標

修武館では、人格形成の基礎となり、心身ともに目覚しく発達する幼児期に「武道のこころ」を伝えます。

また、保護者もいっしょに学べるように親子参加型のプログラム構成を心がけ、日常生活に生かされる武道を目標とし、武道必修化の目的を実現する為の地域のチカラとなることを目指します。

### 事業内容

幼稚園、保育園及び小学生(低学年)を対象に、「木刀による剣道基本技稽古法」を教材にした剣道教室を開催します。

竹刀ではなく木刀を使うことで、より深く剣道の道理を学べることが期待されます。

また、保護者が気軽に見学できる環境を提供し、親と子が一緒に「武道」を学べる機会をつくります。



修武館の伝統と諸先輩方の歩んでこられた歴史を大切に守りながらも、新たな第一歩を踏み出しました。初代館長 小西業茂の思いをいつまでも継承できますようにこれからもチャレンジしていきます。

みなさま、ご理解とご協力をお願い致します。



**修武館武道摘要**

一、吾修武館ノ武道ハ大日本國  
 民人固有ノ精神ナル元氣ヲ  
 鍛錬スルノ方法ニシテ徒ラ  
 ニ技ヲ競ヒ名ヲ衝フ而已ノ  
 藝術ト誤解スル勿レ

一、夫武道ハ誠ヲ以テ本トス  
 故ニ道場ニ立チ刀槍ヲ取リ  
 初メテ武道アルニ非ス。行  
 住坐臥應對進退造次頓沛ノ  
 間皆武道ヲ體ルル事ナシ

一、君ニ忠ナリ。父母ニ孝ナリ。サ  
 サルナリ。友ニ信ナリ。アラサ  
 ルニ信ナラサル武道ニアラ  
 實。篤行。ノ人ヲ以テ此道  
 ノ達人トス

一、此道ヲ修スル者ハ。平常無  
 慾。淡泊ナルヘシ心ニ徳ア  
 レハ氣沮ム。氣沮メハ刀法  
 滯シテ勝有利ナシ

昭和十八年四月  
 修武館長 小西業精識

『修武館武道摘要』

一、我が修武館の武道は、日本人固有の純粋で美しい心身を鍛錬するためのものであり、無意味に技を競い名前を上げることで自己の技量と誤解してはならない。

一、その武道は偽り飾らないのが本分である。故に道場に立ち刀槍を手にして初めて武道になる訳ではなく、日常の行動全てから武道の心が離れてはならない。目上の人に対する尊敬の心を持たず、親に孝行を尽くさず、朋友に信じてもらえない人間に武道はあり得ない。常に誠実であり心豊かである人を武道の達人とする。

一、武道を志す者は常日頃から無欲を通し物事にこだわってはならない。欲があれば気持ちは阻まれ、気持ちは阻まれば刀槍の運びが鈍るため勝負にとって利はない。

昭和十八年四月  
 修武館館長 小西業精の見識

はじめに .....	01
剣道幼年部 1日のながれ .....	04
紐の結び方 .....	04
素振り(竹刀) .....	05
素振り(木刀) .....	05
ススメ!修武館プロジェクト .....	06
「ススメ!修武館プロジェクト!!」 < <a href="http://blog.canpan.info/syubukan/">http://blog.canpan.info/syubukan/</a> > (平成26年3月16日アクセス)	
幼稚園組1期生&1.5期生～もうすぐ高校3年生です .....	16
アンケート結果 .....	18
(平成25年度実施 保護者対象 剣道幼年部アンケート調査)	
おわりに .....	22



# 剣道幼年部 1日のながれ

## 幼年部の稽古

月・水・金 午後4時～午後5時



### 午後4時 整列

- 準備体操  
毎回、順番に前にでて、リーダーになる
- 足さばき、素振り  
金曜日は木刀を使用
- 切り返し  
金曜日は木刀を使用



### 午後4時25分～30分 トイレ・お茶休憩



### 午後4時30分 稽古再開

- 基本打ちの練習
- 面を付けていない組  
打ち込み台を使った練習  
防具を付けた先生にかかる
- 面を付けている組  
防具を付けた先生にかかる  
お互いに稽古



### 午後5時 終了



## 紐の結び方

防具を着用するには、「紐を結ぶ」という動作がとても重要です。特に「蝶々結び」は難しいようで、大人でも「縦結び」になっている人がいます。

最近では「マジックテープ」や「ファスナー」などに代用され、子ども達の日常生活において必要不可欠なものではありませんが、日本の伝統的な「結ぶ」という動作を剣道を通して子ども達に伝えていきたいと思っています。



## 素振り(竹刀)

幼年部(特に幼稚園児)は、腕の力が弱いので竹刀を「まっすぐ振る」ことが難しいです。ですから、まずしっかり肩を使い大きく振る動作を教えています。

言葉ではなかなか理解できないので指導員も一緒に素振りをし、時折、注目させて「肩を使って振る」動作を何度も視覚的に確認させています。



## 素振り(木刀)

「刃筋正しく振る」ことを効果的に教えるために木刀を使った稽古を導入しました。

木刀や竹刀をしっかり握ることも満足にできない幼年部の子ども達に「刃筋」を説明することは想像以上に難しいです。

現在、週3回の稽古のうち1回を木刀を使った素振りの日としていますが、この日の子ども達はよい緊張感を感じているようです。子ども達の刀に対する憧れは、今も昔も変わらないことを実感する瞬間です。



